

令和5年度第2回 柏市文化財保護委員会 会議録

◇開催日時

令和6年2月5日(月) 13時30分～15時

◇開催場所

沼南庁舎 501会議室

◇出席者

(委員)

藤井会長、倉田委員、金出委員、井上委員、石神委員、西野委員

※塩澤副会長、萩原委員、菊池委員は欠席

(事務局)

宮島生涯学習部長、田口文化課長、

黒須副参事、江藤担当リーダー、高城主査、田中主事

◇次第

1 開会

2 教育委員会挨拶

3 報告

(1) 令和5年度・6年度主要事業報告

(2) 柏市文化財保存活用地域計画について

(3) 「旧陸軍高射砲第二連隊照空予習室」の文化財登録について

4 議題

(1) 「斎藤家住宅主屋・までや」の国登録有形文化財登録の提案

について

(2) 文化財の指定・登録の推進について

◇会議録

3 報告

●次第1から2について進行した後、事務局から各事業の報告を行った。また、以下のとおり担当の委員に補足説明を依頼し、各委員に意見及び質問を求めた。

○補足、意見

(1) 令和5・6年度主要事業報告

ア. 柏市文化財保存活用地域計画—染谷家分家（染谷幸四郎家）

(委員からの補足) 所有者より、建物の今後について文化課に相談があり、

建造物調査を実施することになった。染谷家本家（国登録文化財染谷家住宅）へと続く旧道があり、良好な環境と共に屋敷構えが残っている。

（委員からの意見）染谷家分家から本家へは徒歩5分ほどとても良い距離にあるため、本家と一帯化して整備して活用すると良い。分家と本家との間には染谷家の墓地もあり、一帯がとても良い景観を保っている。分家と本家がセットで保存されれば、他に例を見ないものになるだろう。

カ. 手賀庚申塔群の保存修理工事について

（委員からの補足）工事中、庚申塔土台部分の一部に円筒状の窪みが見つかった。今回のように庚申塔の解体をして調査という事例がそもそもない。非常に珍しい事例のため、実測をしてほしい。庚申信仰を研究している窪徳忠氏の本によると、埼玉県の事例として、くぼみの中に酒を入れて庚申年ごとに替えるという風習があると書いてある。浦安市猫実の庚申塔では中に納経するという例があるが、実例は未確認。

4 議題

（1）「斎藤家住宅主屋・までや」の国登録有形文化財登録の提案について

●事務局から登録の提案について説明を行い、各委員に意見を求めた。

○意見

- ・屋敷構成がよく保存されている。柏の原風景の一つとして非常に価値が高い。
- ・屋敷林や植物等、建物以外にも文化財が良好に残っているため、今後の登録の仕方を考えいかなければいけない。

○結果

- ・事務局から国登録有形文化財登録について説明を行い、今後登録の手続きを進めていくことを各委員が了承した。

（2）文化財の指定・登録の推進について

●事務局から文化財の指定・登録推進の現状について説明し、委員に意見を求めた。

○意見

- ・考古資料担当の委員3名でそれぞれ検討し、事務局と調整したらどうか。
- ・次回会議でリスト、写真を挙げて各委員に見てもう機会を作ると良い。

- ・地域計画の中に、各地区の主な文化遺産が表になっているため、これを一つの参考として計画と連携して指定ができればいいのではないか。
- ・資料が膨大なため、指定基準を設けて決めていくと良いのではないか。
- ・登録文化財については所有者が希望すればリストに無いものも受け入れるような体制をとっておきたい。
- ・石造物は膨大であるが、既刊の本から抽出していければと思う。
- ・天然記念物については調査が終わっていないが、近年、鎮守の森なども伐採される状況があり、猶予がない状況。

○結果

- ・各委員からの意見を踏まえて、指定・登録の候補リストの作成を進め、次回会議で提示することとなった。

—以上で審議を終了した。—

◇傍聴者

0名